



母の日の始まり



2020年5月15日

キリスト教視聴覚センター製作から抜粋



①今からずっと昔のこと、アメリカにジャービスさんという女の人がありました。ジャービスさんはアンデレ教会で教会学校の先生をしていました。

②聖書の勉強のとき、「あなたの父と母を敬え」という神様の戒めを子どもたちに教えました。



②「お父さんやお母さんには沢山の仕事があります。子どものお世話をするだけではありません。

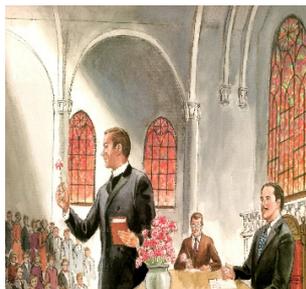
③特に、子どもと一緒に過ごすことが多いお母さんは時にはお手伝いをさせることも、厳しく叱ることもあるでしょう。それは、子どもを元気に賢く人に迷惑をかけず、世の中に役立つ人になるように導くことも大切なお仕事だからです。」とお話しました。



④それから何十年もたって、ジャービスさんは亡くなりました。娘のアンナさんは、アンデレ教会の人達とお話しました。「私は母にとっても感謝しています。その印として母が一番好きだったカーネーションを飾ります。」それを聞いた教会の人達はなんと良い話でしょう。みんなが揃って母親に感謝する日を決めましょう。私たちも父や母をうやまうこと、そして子ども達に感謝してもらえような親になることを忘れないようにしましょうと話しました。



⑤この話を聞いたワーナーメーカーさんは自分のデパートでお母さんに感謝する会を開きました。



⑥母の日の話はドンドン広がり1913年ペンシルベニア州では、母の日を祝日に決めました。1914年にはウィルソン大統領が5月の第2日曜日を「母の日」と決める書類にサインしました。

日本では教会で母の日を始めましたが、今では教会だけでなく日本中にひろがりました。